

巻 頭 言

新入生に対する初の「インターネット利用講習」実施報告 経済学部の情報化との関連において



経済学部教授

望 月 宏

経済学部では新入生全員に対してコンピューターのユーザー登録、およびインターネットの講習を、授業の始まる前の4月初めのオリエンテーション期間に初めて実施した。これまで経済学部の情報化については、コンピューター登録率などのデータから見て他学部には比べ必ずしも進んでいたとは言えなかった。新しい9号館に潤沢な情報機器が設置されたのを機に、今回の「インターネット利用講習」を思い付いたのは昨年の夏頃であった。経済学部では経営学部、商学部、文学部の心理学科などに比べ担当教員は限られているため、結局私のゼミで行わざるをえなかった。しかし、何しろ初めてのことである上、ゼミ生だけで可能かという点、また関連事務部署（情報科学センター事務課、教務課、経理課）との連携プレイをどうすれば良いのかなど、超えるべき課題は多く存在した。事前にコンピューター利用料金を納入させるために合格者の父兄に対する事情説明を行い、繰り返し新入生に対して広くアピールしたが、講習日までに利用登録手続きを完了させることがはたして可能なのかという点が最後まで最大の心配事であった。結果としては、幸い登録率97%、実受講率は93%と期待を大きく上回る事が出来、新入生の関心の高さを知ることが出来た。

今回の講習会を当初から私のゼミでは「IntroNet Project（イントロネット・プロジェクト）」と名付けており、このプロジェクトの遂行にあたって、ゼミ生は春休みに何度も集まり、講習に使うテキストの作成、指導の仕方の練習、1,000人近い新入生に対して効率良く3展開の講習を受けさせるための学生の誘導の仕方など、事前準備に積極的に取り組んでくれた。当日、慣れない手つきで締めたネクタイをつけ、背広に身を固めた講師陣らは、緊張の中で戸惑いながら最初の講習を始めることになった。2時間目に入り慣れるにつれ次第に余裕を見せ始め、3時間目には本来3年生が主体であった講師の役割を2年

次第に余裕を見せ始め、3時間目には本来3年生が主体であった講師の役割を2年生が自ら進んで買って出る積極的な学生も出てきた。

一方受講者側から見ると、講習後に行ったアンケート調査（注）によれば、7割がこれまでコンピューターを使用したことがあるとしているが、Eメール、ネットサーフィンの経験は1割程度に過ぎない。従って初めてインターネットの世界に触れ、講習の後半には最初のメールを出し、それに対して返事を受け取るという体験は概ね評価されたようで、幸い無事終わることが出来た。事前の準備に力を注いだ分、その夜の「お疲れさまの会」での盛り上がりは異常なものがあつた。担当したゼミ生の感想を見ると「教えることの難しさを知った」、「教える相手が、どこが分からないかを理解することが難しかった」、「準備万端出来たと思った時から本当の準備が始まった」など社会へ出る前に一つのまとまった「仕事」をこなし、そこから得たものが大きかったと素直に喜び発言が多く、その面での教育的効果も高かったと思われる。また、私としても学生は機会を与えられればしっかりと「仕事」をこなすことが出来るということを証明できたものと考えており、学生の潜在的な可能性の高さと、良い機会を与えることの重要性を再確認した。

ここで、少し日米の経済学部における情報化について触れてみたい。昨年大学から短期の在外研究の機会を与えられ、アメリカで3ヶ月研究を行って来たが、その際同伴した私の娘が通った小学校のコンピューターの授業を見学させていただいた。初歩的ながら5年生で既に表計算を使い、グラフ化することを教えていた。実はこうした内容は私がコンピューターの授業で日本の大学生に教えている内容である。アメリカでは大学に入る前にワープロ、表計算、インターネット、メールなどは履修済みであることが当たり前である。アメリカの経済学部では、従ってこうした内容では授業の単位とならないとされ、統計、回帰分析など経済学を学ぶ上での必要なもののみが正式な授業とされているのである（ネブラスカ大学からの客員教授ヒュース氏による）。このように技術立国を掲げる日本としては、教育の現場での情報化が、諸外国に比べいかに遅れているかを容易に理解することが出来よう。

経済学部の情報化に対し、今回の講習がどれだけの成果を見せるのかは今後の状況を見守りたいが、既に「昨年に比べメールで連絡してくる学生が飛躍的に増えた」、「従来授業の最初に行って来たコンピューター導入の部分が必要無くなった」などの声は聞いている。

る。来年度に向けては、既にインターネットに馴染んだ学生への対応など課題は多いが、今回の学生のアンケート結果などを踏まえてより良いものにしていきたいと考えている。（なお、今回のプロジェクトに積極的に協力していただいた、情報科学センター事務課、教務課、経理課の皆様 に私とゼミ生一同から感謝の気持ちを表したいと思います。また、来年もよろしくお願いいたします。）

注 アンケート結果

回答者 950人

問1 あなたはこれまでコンピュータを使ったことがありますか？

はい 71.44% いいえ 28.56%

問2 あなたは、Eメールを利用したことはありますか？

はい 8.98% いいえ 91.02%

問3 あなたは、ネットサーフィンの経験はありますか？

はい 11.13% いいえ 88.87%

今回の講習会について1～5の5段階評価した結果

問4 ネットサーフィンについて

3.09

問5 Eメールについて

3.10

問6 コンピュータシステムについて

2.94

問7 今日の講習会全体の評価をお願いします。

3.83

なお、問7の講習会全体の評価を左右する要因を回帰分析すると、Eメール講習を高く評価する学生ほど、講習会全体を高く評価していることが読み取れた。多くの新入生にとって、初めてメールを経験したことがこの講習での一番の体験であったようである。